

2010年・たいへんお世話になりました **日本共産党** 2011年・暮らしを守る政治をつくるため全力つくします

2010年は、日本経済が低迷し、国民生活が厳しさを増すもと、消費税・法人税などの税制や財政問題が国民的な議論となりました。また、沖縄・普天間基地や尖閣諸島、北方領土問題など日本の安保・外交政策が大きく問われる年となりました。

7月の参議院選挙では、民主党ブームが過ぎ去ったことが明瞭になり、年の瀬を迎えた今、菅政権の支持率は大きく落ち込んでいます。内政・外交ともに、これまでの政治の枠組みを本気になって乗り越え、暮らしと平和を守る新しい政治をつくるのが求められています。

羽村市では税収が大きく減り、市政のあり方がこれまで以上に鋭く問われています。駅前整備がはじまった羽村駅西口区画整理事業の見直しは、ますます重要な課題となっています。

激動の2010年、しんぶん赤旗をお読みいただいた皆さんには大変お世話になり、ありがとうございました。

2011年はいっせい地方選挙の年になります。暮らしを守る政治をつくるため、日本共産党は全力をつくす決意です。皆さんのひきつづきご支援を、心からお願いいたします。



羽村民報 2011年1月2日 発行 羽村民報編集委員会
No.1001 責任者 野崎 衷
・電話 579-2132
・FAX 579-2106
日本共産党羽村市委員会は、以上の報道をおこないました。

小学校・中学校のトイレの整備をしっかりと——教育委員会へ提言

12月22日、羽村市教育委員会に対し小学校・中学校のトイレの整備をしっかりとおこなうよう、市議会議員6名が申し入れをおこないました。日本共産党市議団からは、市川英子議員、鈴木たくや議員が参加しました。

申し入れに先立ち、市議会議員らは市内の小・中学校10校を訪問し、聞き取りや現地調査をおこなっていました。

タイルのはがれや臭いトイレなどの実態をつかんでの申し入れに、角野教育長は「たいへん有難い指摘だ。教育委員会も実態をよくつかみ、改善の努力をはかりたい。」と応えました。



タイルはがれ、取っ手がとれている、などの箇所が。



鈴木たくや市議 学校で子どもが大切にされているかどうかを端的に表れるのがトイレの整備状況ではないでしょうか。よく整備されているところがほとんどですが、問題ありの箇所も残されています。きちんと整備されるよう指摘を続けていきます。

寒風の中、「街頭なんでも相談会」 in小作駅

12月22日夜、小作駅東口で「日本共産党・街頭なんでも相談会」が開催されました。鈴木たくや市議、倉田まなぶさんらが、トン汁やおにぎりを準備して、「雇用のこと、暮らしのこと、なんでもご相談ください」と市民によびかけました。

仕事帰りという男性からは「不況の影響で大変。共産党が頑張っていること注目しています」との声、通りがかった女性から「夫が年金生活になって、暮らしが厳しくなっている。期待しています」との声などが寄せられました。



倉田まなぶさん 寒空のもと、暮らしの大変さや雇用の問題などで元気がない方、たくさんいらっしゃるとお思います。そういう皆さんに対し、エールを送りたい、という思いで相談会にとりくみました。街頭宣伝をおこなっていても「政治をよくして欲しい」との声をたくさんいただきます。その期待に応えて頑張ります。

次回の無料法律相談は1月18日(火)午後1時半からです。電話でお申し込みください。

・中原 554-1163・市川 554-1140・鈴木 080-1058-9450
・倉田 080-3460-0064まで。